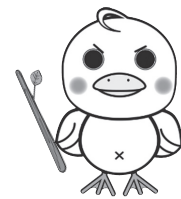


げん 減ちゃんのごみ分別相談所

～プラスチック製容器包装の分別編～



ごみ減量推進キャラクター
「減ちゃん」

「プラスチック製容器包装」の特集第二弾です。
今回は指定袋に入っていると、「回収できないもの」について取り上げていきます。

注意点①

医療系廃棄物や危険品は絶対に入れないでください！

指定袋には、医療系廃棄物（注射針、注射器など）や危険品（電池、ライター、ガスボンベ、刃物、釘、ガラス片など）は絶対に入れないでください。

プラスチック製容器包装は、収集するときやクリーンヒルこもろで選別するとき、リサイクル工場で仕分けるときに、必ず人の手で作業を行います。が、「注射針」や「刃物」が混入していると、作業員が怪我をする恐れがあります。過去に「刃物」が混入していたため、選別する作業員が怪我をしたという事例もあります。

また、「電池」や「ライター」、「ガスボンベ」などは発火する危険性があり、作業員に危険が及んだり、ごみ収集車や施設が使えなくなってしまうケースも考えられます。

重大な事故を未然に防ぐためにも、「危険品」などは絶対に入れないようにしましょう！

※「注射針」の処分については、受診されている医療機関等へお問合せください。

注意点②

「二重袋」で出されたものは回収できません！

※二重袋とは…プラスチック製容器包装をレジ袋などの小袋に入れた状態で、さらにごみ袋に入れることを二重袋と呼びます。

「二重袋」は、選別作業の際に一つ一つを破袋しなければならず、作業効率を悪くしてしまいます。さらに袋の中身が見えず、危険品などが混入していた場合、作業員への危険が伴うため、禁止されています。



注意点③

汚れの付いたものは、洗って乾かしてから指定袋に入れましょう！

プラスチック製容器包装の袋には、汚れたものは入れないようにしましょう。汚れたものが混ざると、リサイクルする過程で支障をきたすばかりでなく、他のきれいなプラスチック製容器包装にも汚れが広がってしまいます。また、「生ごみ」がそのまま混入しているケースが目立ちます。「生ごみ」は、市指定の紙製のごみ指定袋で出していただくようになりますので、ご協力をお願いします。

【汚れに関するQ&A】

Q、どのくらいきれいにすれば良いのですか？

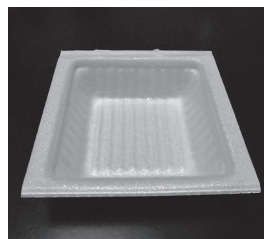
A、汚れが残らない程度に、残り水などで水洗いすれば大丈夫です。

Q、どうしても汚れの落ちないものはどうしたら良いのですか？

A、カップラーメンのタレの袋などのように、汚れが落ちなかったり、落とすのが難しいものは、「燃やすごみ」で出してください。



生ごみは、紙製の指定袋に分別して出してください。



納豆の容器は、水洗いで簡単にきれいになります。

プラスチック製容器包装は、再資源化を委託している日本容器包装リサイクル協会によって内容物の検査を受けています。医療系廃棄物や危険品、二重袋、異物の混入が続くと、最悪の場合、引き取りを拒否され、分別方法や市民の皆様のゴミ処理費用などの面で影響が出てくる可能性もあります。引き続き、適正な分別とごみの減量にご協力をお願いします。

▼問い合わせ先 生活環境課 ごみ減量推進係